

ひのまちトーク2022 (自治会交流会)

R4(2022). 6. 11(土)

西宮下自治会 石岡 恒夫

1 自己紹介

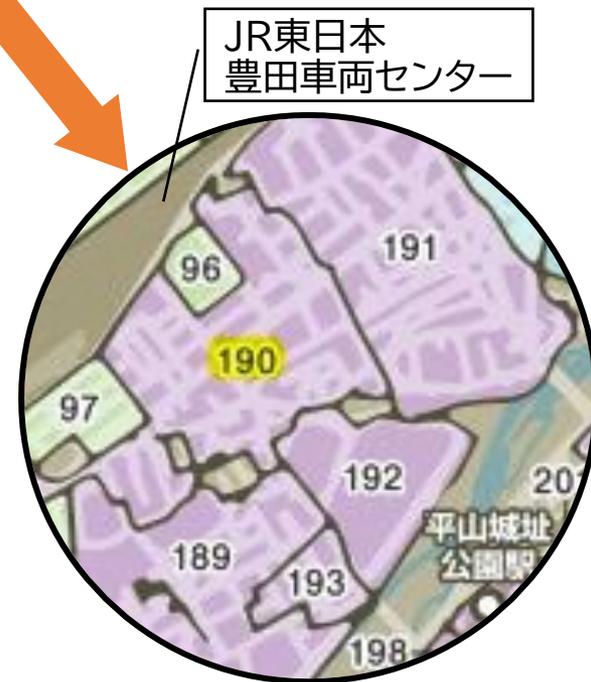
① 氏名	石岡 恒夫
② 職業	自営業
③ 自治会	西宮下自治会
④ 役職	平成30(2018)年度 副会長 令和 元(2019)年度 副会長 令和 2(2020)年度 会長 令和 3(2021)年度 会長



※ JR東日本豊田車両センターの南側
※ 以下の地図の「190」

【自治会の概要】

① 設立	<ul style="list-style-type: none">● 昭和40年代設立し川北連合体として活動● 平成7(1995)年度より単独で活動開始
② エリア	東平山1~3丁目、西平山1丁目周辺
③ 加入数	202世帯 / 全613世帯
④ 組織	<ul style="list-style-type: none">● 会長、副会長、各部長(副部長)、会計、参与(相談役)、監事、班長(全13班)※ 各部:親睦部、地域安全部、福祉部、環境部、サポート部(Webページ運営委員会)● 自主防災・防犯組織 / 有、子ども会 / 有



2 自治会加入促進の取組みについて(1/3)

1. 課題

- ① 現在区画整理が進行中で区域内への出入りが多いが、入ってきた人達の加入は自治会の必要性を感じていない等で低調であること。
- ② 高齢化で自治会の必要性が希薄となり、退会へ繋がる恐れが生じていること。
- ③ 2021年4月、マンション(64世帯)の入居条件となっていた自治会加入が撤廃され、全員退会したこと。
- ④ 2020年4月、ニュータウン(120世帯)が当自治会の区域になったこと。

自治会
加入率
低調

2. 取組み

自治会の存在・意義・魅力等
アピールが必要

各種行事実施
・自治会情報発信

未加入者宅へ
自治会紹介・加入チラシ
配布

成果

令和3年度
新規加入:12世帯

重要

未加入者宅へ
役員手分けして
訪問し勧誘

3 加入促進の取組みについて(2/3)

3. 実施した行事

①親睦活動	じゃがいも掘り(6月) 秋祭り(11月 ※1) マルシェ(3月) ブルーベリー摘み(中止)
②地域安全活動	児童見守り(年間) 防犯パトロール(年間) 年末火の用心(12月) 防災訓練(中止)
③福祉活動	高齢者見守り(年間) 敬老記念品配布(9月) 高齢者等健康体操(9 ~1月 ※2) 高齢者等生活支援サービス(11~3月 ※3)
④環境活動	秋の一斉清掃(11月) 春の一斉清掃(中止)
⑤会員主催行事	餅つき(12月) 親子DIY(2月)
⑥その他活動	Zoom講習会(7月 ※2) スマホ教室(中止 ※4)

※1 日野市 自治会活動インセンティブ補助事業

※2 日野市 高齢者「地域でささえる・つながる」プロジェクト補助金事業

※3 同上

※4 東京都 地域の底力発展事業助成金事業

4 加入促進の取組みについて(3/3)

秋祭り(かわきた祭り)について



- ① 実施日
令和3年11月14日(日)11:00~16:00
- ② 実施場所
川北地区センター
- ③ 実施イベント
 - 大道芸人、マジシャン、滝合小カラーガード
 - ピックルボール体験の実施
 - 子どもの遊び場の提供
- ④ 実施ゲーム
輪投げ、射的、ヨーヨー、スーパーボール
- ⑤ 出店で提供したもの
 - 飲食:お団子、綿あめ、フランクフルト、ポップコーン、焼き鳥、パウンドケーキ、珈琲
 - その他:バルーンアート、ハンドメイド雑貨、似顔絵、骨密度測定
- ⑥ 結果
 - 来場者数:約330名(会員:約80名、当地域の非会員及び周辺の方達:約250名)
 - 特に子供達の参加が多かった

5 自治会情報発信の取組みについて(1/2)

1. 自治会の課題

- ① 新たに引っ越して来た人達は自治会に無関心な人達が多い。
- ② 共稼ぎ世帯等の会員は自治会の必要性が希薄故、退会へと繋がる恐れがある。

2. 取組み

- ① 令和元年度まで、回覧板・総会等で自治会情報発信を行っていた。
- ② こうした中、
 - ・ 令和2年度自治会活動インセンティブ補助事業でHP開設等が対象となったこと
 - ・ スマホ、SNSの普及が進んでいたこと等から会員の賛同を得て、令和2年度の同事業で「自治会HP」と「自治会SNSコミュニティ(LINE)」の開設を進めた。
※ HPはプル型情報配信ツール故自ら能動的に見に行かないと情報得られないとの課題もあり、対策としてプッシュ型情報配信ツールの自治会SNSコミュニティ(LINE)を同時に開設した。
- ③ 同時に利用者(登録者)を増やすためにWebコミュニケーションの機材も同事業で揃えた。
- ④ これらのツールの利用度向上のため、登録の呼びかけやイベント等を実施した。
【自治会LINEアカウント登録数】 令和2年度末:107名 令和3年度末:165名

6 自治会情報発信の取組みについて

3. ツール活用状況

ツール	自治会 情報発信	連絡手段	会議・資料作成 効率向上	セミナー等 プレゼン	コロナ対策
HP	○				○
自治会SNSコミュ ニティ (LINE)	○				○
LIN連絡網		○	○		○
Web会議		○	○	○	○
テレビモニター			○	○	○
共通ファイル活用 (Doropbox)			○		○

4. 成果

- ① 過去からの行事をいつでもどこでも閲覧可能となったこと大変喜ばれていること。
- ② 回覧板をLINEでも配信したことにより班長の負担軽減とコロナ対策に繋がったこと。
- ③ 在宅で会議参加可能となったことから出席率向上とコロナ対策に繋がったこと。
- ④ モニターに会議資料が映写されることから会議がスムーズに行えるようになったこと。
- ⑤ 自治会への親近感向上、コミュニケーションの増大等で加入促進にも繋がったこと。